

令和7年度 京都市立桃山南小学校 学校経営方針

学校経営理念

「今日に満足、明日もきたい(来たい・期待)」学校

「生きる力」を育み、児童のウェルビーイングを実現

育てたい資質・能力

「主体性」…自ら学ぶ力 「社会性」…自ら律する力

桃山南小学校 学校教育目標

自ら考え、学び、可能性を発揮し、
よりよい社会の創り手となる子の育成
～かしこく、やさしく、元気よく～

目指す学校像

- 子どもたちが楽しく安心して通える学校
- 保護者や地域から信頼される学校
- 教職員同士が学び合い高め合う風通しのよい学校

目指す子ども像

- 自ら進んで学習し、友だちと協力できる子
- 思いやりをもち、自他を大切にする子
- 健やかな心と体で元気いっぱい明るい子

目指す教職員像

- 個々の子どもによりそい、子どもの実態を正しくとらえようと努力する教職員
- 自らの人権意識を問い直し、温かく子どもと関わり、誰からも信頼される教職員
- 自らの指導力の向上のため自己研鑽に励み、教育の質を高めようと努力する教職員

学校づくりの5つの柱

- ・『いのち』 子どもの命を守りきる
- ・『よりそい』 多様な子どもが誰一人取り残されない教育を進める
- ・『つとめ』 教職員の職責を自覚し、研鑽することで、教育の質を高める
- ・『ひろがり』 カリキュラム・マネジメントの視点をもって社会に開かれた教育課程を実現する
- ・『つながり』 校種間連携・接続により子どもを支える

学校教育目標具現化のための取組

「生きる力」を育む15の取組を通して、子どもたちの知・徳・体を一体的に育む学校教育

◆「確かな学力」の育成・・・学習機会と学力の保障

- ・「生きる力」を育む学びに向けた視点
- ・基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得
- ・探究活動と京都ならではの教育の充実
- ・グローバル化時代に対する実践的英語力の育成
- ・発達障害を含む障害のある子ども一人一人の実態に応じた適切な指導と支援の充実

◆「豊かな心」の育成・・・全人的な発達・成長の保障

- ・道徳教育の充実
- ・伝統文化・芸術を通じ、豊かな感性・情操を育む教育の充実
- ・発達支持的生徒指導の推進と規範意識の育成
- ・多様性を理解する姿勢の涵養
- ・支え合い高め合う集団づくりの推進と絆づくり

◆「健やかな体」の育成・・・身体的・精神的な健康の保障

- ・運動やスポーツの実践と体力の向上
- ・保健教育の充実
- ・飲酒・喫煙・薬物に関する指導
- ・安全教育の充実
- ・食に関する指導の推進

- ◇主体的・対話的で深い学びを重視した授業を通して、学びの質を高める
- ◇日々の授業と家庭学習との連動を通して、自学自習の習慣化を図る
- ◇自他を大切にし、「公共の精神」に基づく態度を育む
- ◇自らの安全や健康に対する意識を高める

☆創意工夫あふれる取組の推進

☆新しい時代の学校教育の実現にむけて